

平成31年度 第1回 桜井市地域公共交通活性化再生協議会 次第

日時：平成31年4月25日（木） 10時から

場所：桜井市立中央公民館 3階 大会議室

1. 開 会

2. 挨拶 会長 笹谷 清治

3. 議 事

1. 平成30年度の事業報告について

- ・資料1 平成30年度事業報告について
- ・資料2 コミュニティバス利用者実績について
- ・資料3 予約型乗合タクシー利用者実績について

2. 市公共交通再編について

- ・資料4 市公共交通再編について
- ・資料5 コミュニティバス初瀬・朝倉台線 課題と再編方針
- ・資料6 コミュニティバス西北部循環線 課題と再編方針

- 参考資料
- ・地域連携サポートプラン 提案書
 - ・読売新聞記事（平成31年4月5日）

平成 30 年度事業報告について

○ デマンド型乗合タクシーの変更

上之郷デマンド型乗合タクシーの運行については、上之郷診療所の廃止に伴い、地元住民と協議の上、平成 30 年 8 月 1 日より、運行時刻の変更・追加および乗降地の追加を実施した。

変更前	変更後（平成 30 年 8 月 1 日より）
【運行日】 ○ 毎週月・水・木・金曜日 ただし、済生会中和病院が休みの日（祝日、創立記念日 5 月 30 日、12 月 29 日～1 月 3 日）は運休	○ <u>毎週月～土曜日</u> <u>ただし、日祝日・12 月 29 日～</u> <u>1 月 3 日は運休</u>
【運行時刻】 ○ 上之郷地域発済生会中和病院行 月曜日 9：00 発 10：00 発 水曜日 9：00 発 木曜日 9：00 発 金曜日 9：00 発 ○ 済生会中和病院発上之郷地域行 月曜日 12：00 発 14：00 発 16：00 発 水曜日 14：00 発 16：00 発 木曜日 14：00 発 16：00 発 金曜日 14：00 発	○ 上之郷地域発済生会中和病院行 月曜日 9：00 発 10：00 発 <u>火曜日 9：00 発（南コースのみ）</u> 水曜日 9：00 発 木曜日 9：00 発 金曜日 9：00 発 <u>土曜日 9：00 発</u> ○ 済生会中和病院発上之郷地域行 月曜日 12：00 発 14：00 発 16：00 発 <u>火曜日 12：00 発 14：00 発</u> <u>16：00 発（南コースのみ）</u> 水曜日 14：00 発 16：00 発 木曜日 14：00 発 16：00 発 金曜日 14：00 発 <u>16：00 発</u> <u>土曜日 14：00 発 16：00 発</u>

【運行ルート】 ○ 上之郷地域の個人宅 ⇒ 長谷寺駅 ⇒ とれとれ・オークワ前 ⇒ 桜井市役所 ⇒ 桜井駅南口 ⇒ 済生会中和病院 ○ 済生会中和病院 ⇒ 桜井駅南口 ⇒ 桜井市役所 ⇒ とれとれ・オークワ前 ⇒ 長谷寺駅 ⇒ 上之郷地域の個人宅	○ 上之郷地域の個人宅 ⇒ 長谷寺駅 ⇒ とれとれ・オークワ前 ⇒ 桜井市役所 ⇒ 桜井駅南口 ⇒ 済生会中和病院 ○ 済生会中和病院 ⇒ 桜井駅南口 ⇒ 桜井市役所 ⇒ とれとれ・オークワ前 ⇒ 長谷寺駅 ⇒ 上之郷地域の個人宅 ※火曜日のみ新しく南コースを追加 ○ <u>上之郷地域の個人宅 ⇒ 長谷寺駅 ⇒ 森本整形外科 ⇒ 小阪医院 ⇒ 桜井駅南口 ⇒ 済生会中和病院</u> ○ <u>済生会中和病院 ⇒ 桜井駅南口 ⇒ 小阪医院 ⇒ 森本整形外科 ⇒ 長谷寺駅 ⇒ 上之郷地域の個人宅</u>
--	---

○ 公共交通の利用促進・啓発について

市内公共交通の利用振興策の一環として、市内のイベントにて、チラシを配布した。その後、チラシに関するお問合せも多くいただき、一定の利用促進を図ることができた。

○ 桜井市地域公共交通活性化再生協議会の開催

第1回 平成30年5月21日

- ・ 平成29年度の事業報告について
- ・ 桜井市公共交通運行実施計画の一部改定について
- ・ 生活交通確保維持計画（地域内フィーダー系統生活交通確保維持計画）について
- ・ 今後の市公共交通再編について

第2回 平成31年1月30日

- ・ 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価（自己評価）について
- ・ 今後の市公共交通再編について

桜井市の人口変化とコミュニティバス乗降数変化の比較

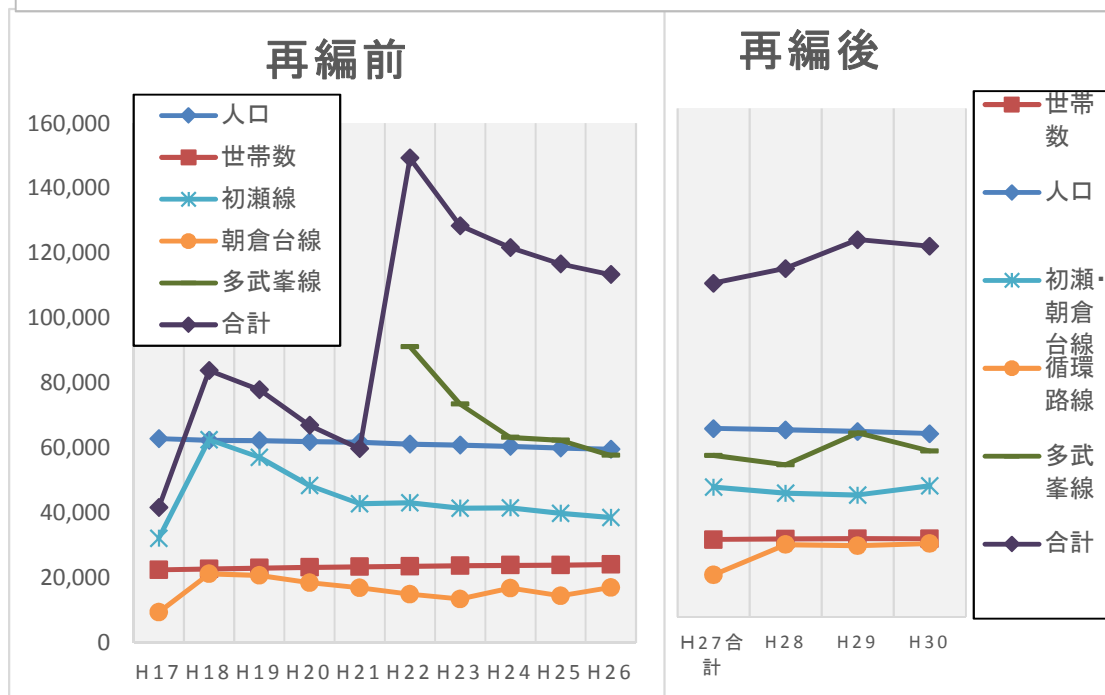
年度	人口	世帯数	輸送量			
			初瀬線	朝倉台線	多武峯線	合計
H17	62,876	22,465	32,243	9,466		41,709
H18	62,408	22,746	62,567	21,266		83,833
H19	62,246	23,023	57,106	20,807		77,913
H20	61,991	23,222	48,477	18,484		66,961
H21	61,799	23,484	42,901	16,937		59,838
H22	61,187	23,569	43,166	14,938	91,200	149,304
H23	60,867	23,753	41,488	13,462	73,491	128,441
H24	60,501	23,969	41,596	16,861	63,256	121,713
H25	60,016	23,969	39,905	14,449	62,322	116,676
H26	59,601	24,126	38,634	17,061	57,712	113,407
H27.～5月	59,316	24,389	5,620	2,882	9,633	18,135
H27.6 再編			初瀬・朝倉台線	循環路線	多武峯線	合計
H27.6月～	59,316	24,389	32,411	13,282	41,172	86,865
H27合計	59,316	24,389	40,913	13,282	50,805	105,000
H28	58,889	24,532	38,968	22,799	47,900	109,667
H29	58,386	24,629	38,362	22,438	57,909	118,709
H30	57,705	24,641	41,275	23,130	52,268	116,673

合計

105,000

※人口、世帯数は前年度3月30日の数値

※1 H27合計の初瀬朝倉台線の輸送者数は、H27年6月までの初瀬線・朝倉台線と、H27年6月からの初瀬朝倉台線の合計
 ※2 H29循環路線合計の輸送者数は、H29年6月までの北循環路線と、西北部循環路線・南循環路線の合計



※平成17年コミュニティバスは10月から半年間の運行

平成29,30年度 上之郷デマンド型乗合タクシー利用実績

資料3

H30
うち1歳以上小学生以下もしくは障害者手帳をお持ちの方及びその介護者
乗車数

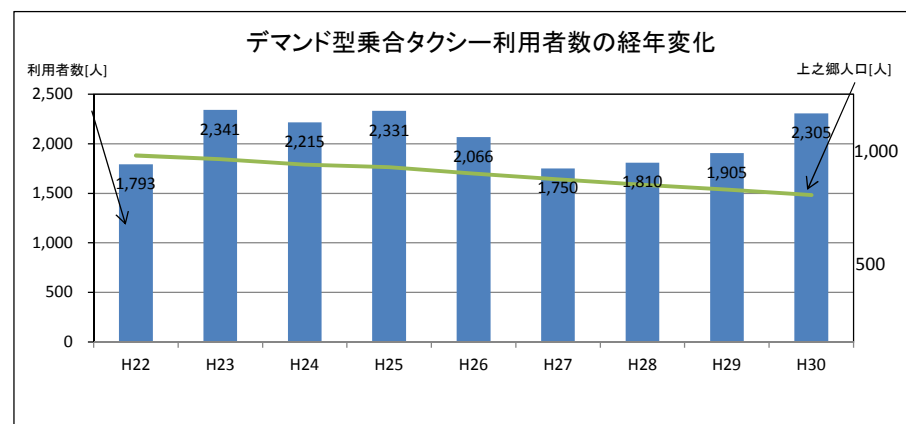
H29
うち1歳以上小学生以下もしくは障害者手帳をお持ちの方及びその介護者
乗車数

利用者合計人数[人]	2,305	295	1,905	305
(月曜日)	588	95	796	137
(火曜日)	360	29		
(水曜日)	399	65	403	57
(木曜日)	385	65	355	73
(金曜日)	455	35	351	38
(土曜日)	118	6		

運行日数[日]	254	193
運行台数[台] (うち市役所)	942	75
予約便[便]	749	565
予約の無い便[便]	139	61
予約率[%]	84.3%	90.3%
1便毎の平均乗車人数[人/便]	3.1	3.4
1台毎の平均乗車人数[人/便]	2.4	2.6

	H30年度	H29年度
運行経費[円]	4,973,580	3,898,100
運賃収入[円]	1,081,700	891,500
収支差額[円]	3,891,880	3,006,600
国庫補助金[円]	446,000	500,000

	時刻	H30	H29
便毎の平均乗車人員 [人/便]	9:00	4.7	5.2
	10:00	1.4	1.5
	12:00	1.7	2.3
	13:00		1.4
	14:00	2.4	2.6
	16:00	1.2	1.7
便毎の予約率[%]	9:00	96.3%	99.5%
	10:00	76.7%	90.0%
	12:00	77.8%	90.0%
	13:00		97.2%
	14:00	80.6%	92.7%
	16:00	74.2%	89.5%



平成29,30年度 高家デマンド型乗合タクシー利用実績

	H30		H29	
	乗車人数	うち、1歳以上小学生以下もしくは障害者手帳をお持ちの方及びその介護者	乗車人数	うち、1歳以上小学生以下もしくは障害者手帳をお持ちの方及びその介護者
利用者合計人数[人]	132	4	150	8
(火曜日)	65	0	93	7
(金曜日)	67	4	57	1

運行日数[日]	101	99
実運行日数[日]	76	86
運行台数[台]	110	127
予約便[便]	114	127
予約の無い便[便]	208	170
予約率[%]	35.4%	42.8%
1便毎の平均乗車人数[人/便]	1.2	1.2
1台毎の平均乗車人数[人/便]	1.2	1.2

運行経費[円]	¥	288,200	¥332,740
運賃収入[円]	¥	38,800	¥43,400
収支差額[円]	¥	249,400	¥289,340

	時刻	H30	H29
便毎の総乗車人員[人/便]	9:00	70	75
	13:00	36	44
	15:00	26	16
便毎の平均乗車人員[人/便]	9:00	2.0	1.1
	13:00	1.8	1.0
	15:00	1.4	1.1
便毎の予約率	9:00	52.2%	66.0%
	13:00	29.9%	45.2%
	15:00	28.4%	16.1%

項目	H30	H29
交付件数[件]	128	128
既利用者数[人]	8	8
うち10回未満利用者[人]	4	5
うち10回以上利用者[人]	4	3

◇初瀬・朝倉台線の再編について

○再編のポイント

1. 初瀬・朝倉台線の終点の停留所を「吉隠柳口」から「与喜浦」に変更する。
また、吉隠区域には、代替手段としてデマンドタクシーを導入する。
2. 『桜井駅北口 8 時 35 分発 与喜浦行』を減便する。
3. 同路線と南循環線を統合し、『与喜浦発 桜井駅北口経由 桜井駅南口行』に変更する。また併せて、走行車両を小型化（南循環線仕様）する。
4. 『桜井駅南口発 桜井駅北口経由 与喜浦行』の最終便を平日のみの運行とする。
（観光シーズンの土日については、桜井飛鳥線で対応）
5. 運行日数は、従来の初瀬・朝倉台線と同様とする。（南循環線については、運行日数増となる）

○再編に伴う経費の増減（概算）

1) 初瀬・朝倉台線再編による効果額

変更前の運行費用：85,012,900 円



変更後の運行費用：80,411,180 円

4,601,720 円の減額見込み — a

※運行費用はコミュニティバスの全路線の金額

※減額効果は、9 割以上が初瀬・朝倉台線の路線短縮によるもの

2) 吉隠区域へのデマンドタクシー導入費用

1 台単価：5,240 円（上之郷地域と同様）

利用者数/月：17 人

※上之郷のデマンド利用登録者：743 人 内 30 年度の実利用者：89 人⇒利用率 12%

吉隠区人口（31.2.28 時点）：136 人 $136 \text{ 人} \times 12\% = \text{約 } 17 \text{ 人}$ 運行経費/月：5,240 円 $\times 17 \text{ 人} = 89,080 \text{ 円}$

乗車料/人：500 円/人

市負担/月：89,080 円 $- 8,500 \text{ 円} = 80,580 \text{ 円}$ 市負担/年：80,580 円 $\times 12 \text{ か月} = 966,960 \text{ 円}$ — b見込まれる効果額（a - b）：3,634,760 円

○再編によって見込まれるメリットとデメリット

メリット

- ・経費の削減
- ・利用者の利便性の向上（利用者の住居からの乗降が可能となる）
- ・済生会中和病院を利用する際など、南循環線との統合により、乗り継ぎの手間が解消される

デメリット

- ・デマンドタクシーを利用する際に、予約の手間が発生する
- ・従来のバス路線と比較して便数が減少
- ・利用者負担が増加する可能性

○調整事項・課題

- ・吉隠地域への説明
- ・初瀬地域から要望が出る可能性あり
- ・両路線（初瀬・朝倉台線と南循環線）統合後の新路線の運賃設定をどうするか
 現行：初瀬・朝倉台線→大人 190 円～300 円（距離制）
 南循環線→大人 190 円均一
- ・従来のバス路線の表示物、停留所等の表記変更 ※市が経費負担
- ・デマンドタクシーの運行請負業者をどのように選定するか。
 →タクシー協会から推薦
- ・デマンドタクシーの料金設定
- ・運賃及びデマンドタクシーの運行日時及びルート（降車ポイント）の設定

《参考》

☆運賃 上之郷地域→500 円 高家地域→300 円

☆運行日時

上之郷地域			高家地域	
	【行き】	【帰り】	【行き】	【帰り】
月	9:00 10:00	12:00 14:00 16:00		
火	9:00	12:00 14:00 16:00	9:00	13:00 15:00
水	9:00	14:00 16:00		
木	9:00	14:00 16:00		
金	9:00	14:00 16:00	9:00	13:00 15:00
土	9:00	14:00 16:00		

※「行き」は、1 人目の利用者宅の出発時刻。「帰り」は、済生会中和病院を出発する時刻。
 ただし、済生会での予約がない場合は、桜井駅南口の出発時刻。

☆運行ルート

上之郷地域		
	【行き】	【帰り】
月・水・木・ 金・土	利用者宅→長谷寺駅→とれとれ・ オークワ前→市役所→桜井駅南口 →済生会中和病院	済生会中和病院→桜井駅南口→市役所→ とれとれ・オークワ前→長谷寺駅→利用 者宅
火	利用者宅→長谷寺駅→森本整形外科→小阪医院→桜井駅南口→済生 会中和病院	済生会中和病院→桜井駅南口→小阪医院 →森本整形外科→長谷寺駅→利用者宅

※高家地域は、火・金とも、「行き」は利用者宅→済生会→ヤマトー→桜井駅南口で、帰りはその逆経路となる。

☆吉隠地域における運行日時及び運行ルート（案）

吉隠地域		
	【行き】	【帰り】
月	9:00	14:00 16:00
火	9:00	14:00 16:00
水	9:00	14:00 16:00
木	9:00	14:00 16:00
金	9:00	14:00 16:00
土	9:00	14:00 16:00

吉隠地域		
	【行き】	【帰り】
月～土	利用者宅→長谷寺駅 →桜井駅南口→済生 会中和病院	済生会中和病院→桜 井駅南口→長谷寺駅 →利用者宅

◇西北部循環線の再編について

○再編のポイント

1. バス路線を廃止し、代替としてデマンドタクシーを導入する
2. 他地域のデマンドと同様に、利用者宅までの送迎とする（極端に狭隘な箇所は除く）
3. デマンドタクシーの導入対象地域を新たに設定し直す（現時点で未定）

○再編に伴う経費の増減（概算）

- 1) 西北部循環線の経費（H30.10.29 算出経費ベース）

循環路線総額 32,527,500 円 内 西北部循環 17,860,460 円 - a

- 2) デマンドタクシー導入費用 ※現行のバス路線対象地域に導入した場合を想定

1台単価：5,240 円（上之郷地域と同様）

現行のバス路線対象地域に、現行のダイヤ通り1日6便中、3便は1台（最大4名乗車可）、残りの3便は2台で運行する場合

運行経費/日：47,160 円

土日祝日運休なしで運行したと想定

運行経費/年：17,213,400 円 - b

見込まれる効果額（a - b）：647,060 円

※料金設定並びに利用人数については現時点で未設定のため、料金収入は未算入

※運行日時と乗降ポイントも現時点で未設定

○再編によって見込まれるメリットとデメリット

メリット

- ・経費の削減
- ・デマンドタクシー対象地域での利用者の利便性向上（利用者の住居もしくはそれに近い地点での乗降が可能となる）

デメリット

- ・デマンドタクシーを利用する際に、予約の手間が発生する
- ・従来のバス路線と比較して便数が減少
- ・利用者負担が増加する可能性
- ・従来のバス対象地域とデマンドタクシー対象地域が異なる場合、対象とならない地

域においては公共交通路線が消滅する

○調整事項・課題

- ・デマンドタクシーの需要の想定が困難（H29 のバス一便あたり乗車人数:5.5 人）
- ・現行のコミュニティバス対象地域への説明
- ・デマンドタクシー導入地域をどのように選定するか。（市街化調整区域のみデマンドを導入 等）
- ・上記の場合、芝や戒重地域をどうするか。また、かねてから公共交通導入の要望がでている穴師地域や、現在コミュニティバス路線の対象地域ではない茅原や箸中地域をどうするか。
- ・デマンドタクシーの運行請負業者をどのように選定するか。
→タクシー協会から推薦
- ・デマンドタクシーの料金設定
- ・運賃及びデマンドタクシーの運行日時及びルート（降車ポイント）の設定（従来の利用状況から、山の辺病院、イオン桜井店、桜井駅は必須。他のポイントは？）
- ・従来のバス路線の表示物、停留所等の表記変更 ※経費発生

西北部循環線の対象エリア（大字）

<u>○大字名</u>	<u>停留所</u>
○新屋敷	新屋敷
○大泉	大泉
○大西（江包）	大西口、大西・江包口
○太田	太田
○草川	山の辺病院
○辻	纏向県営住宅
○大豆越	大豆越
○東田	東田
○豊前	豊前
○豊田	豊田
○大西	豊田住宅
○芝	芝打合町
※戒重	戒重北口

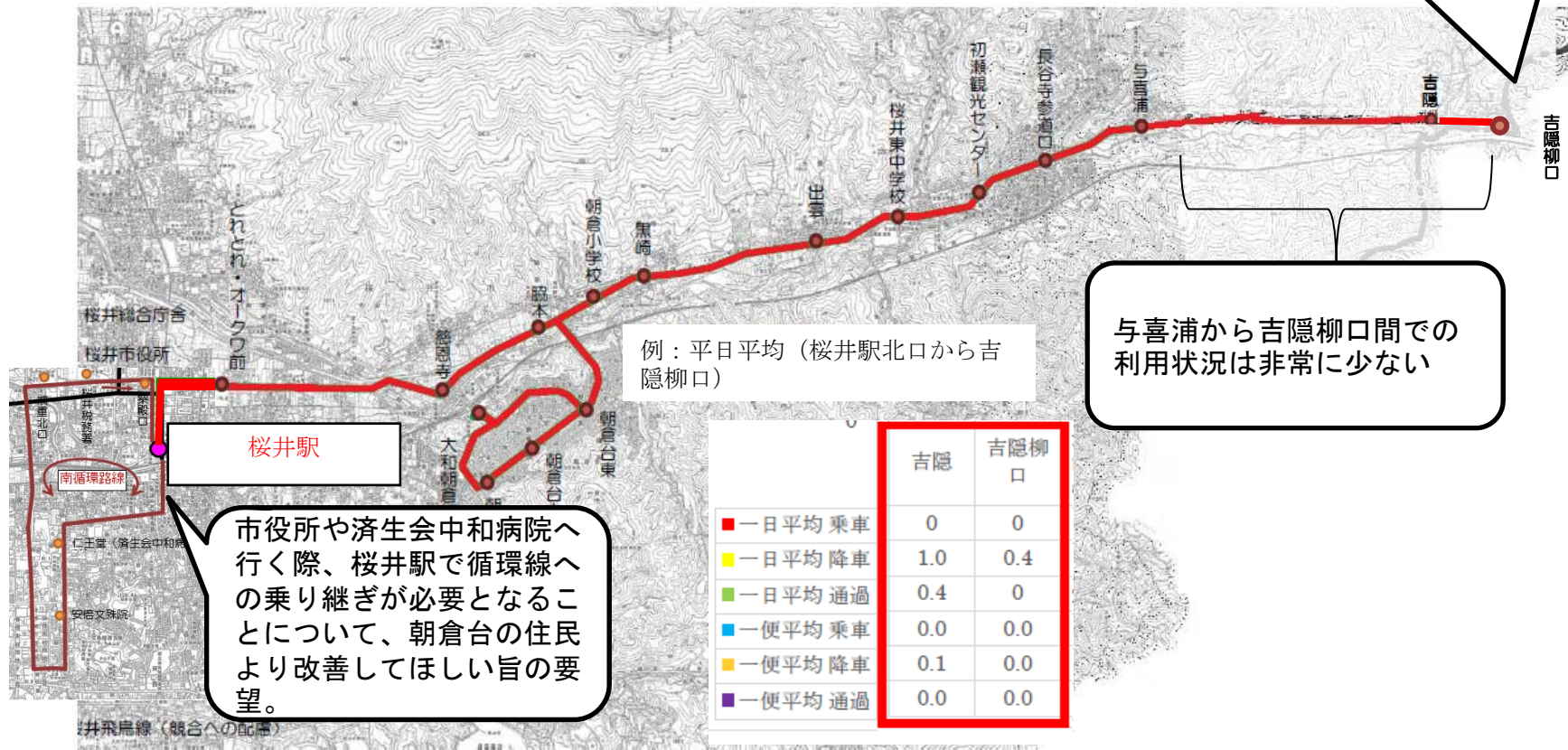
計 13 (14) カ大字

コミュニティバス 初瀬・朝倉台線 【課題】

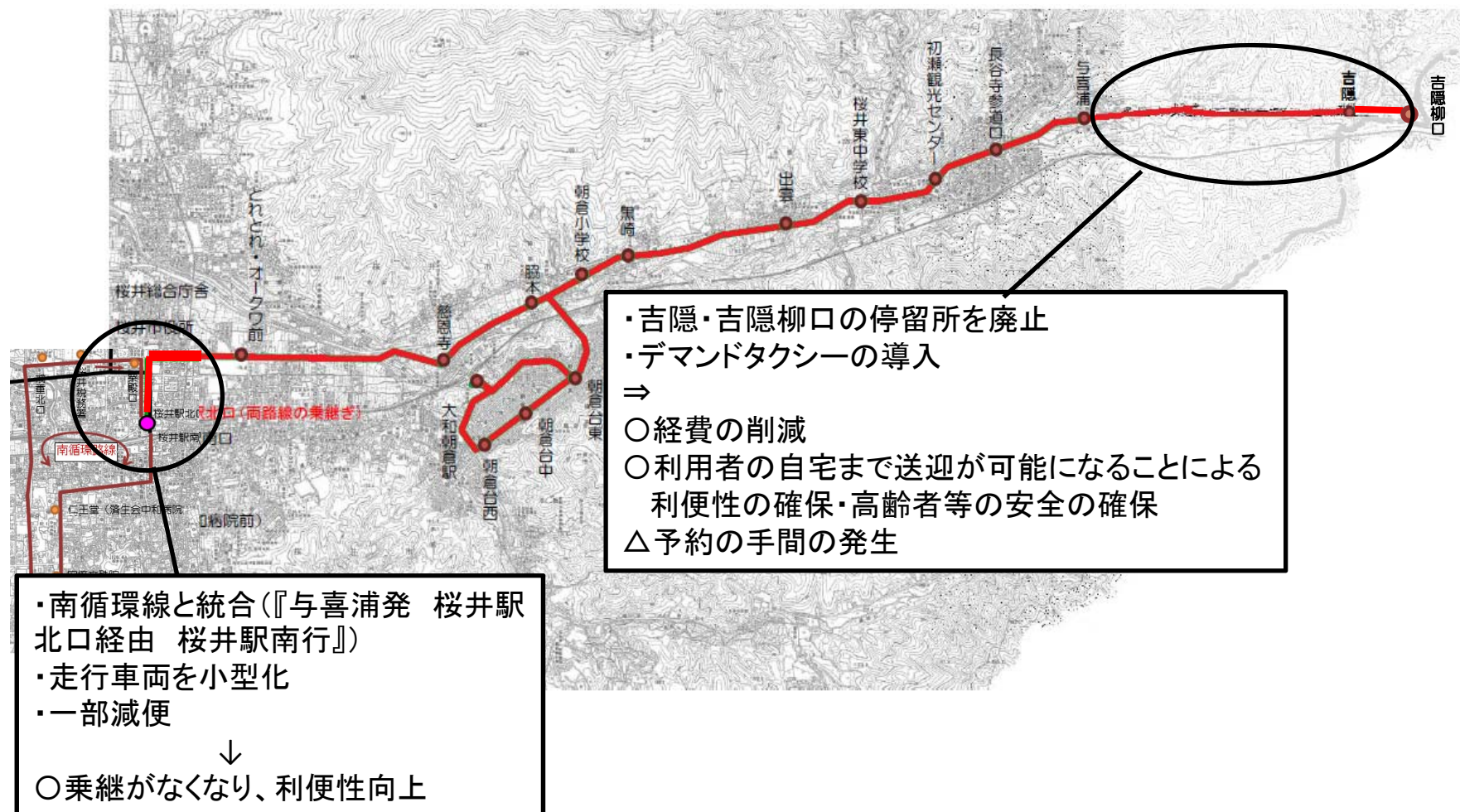


吉隠及び吉隠柳口のバス停

- ・集落から距離が遠い
- ・集落と国道をつなぐ道路が急勾配となっているため、高齢者にとって負担
- ・日常的に頻繁に車両が通行する国道165号線沿いに設置されており、高齢者の安全面に課題



コミュニティバス 初瀬・朝倉台線 【再編方針】



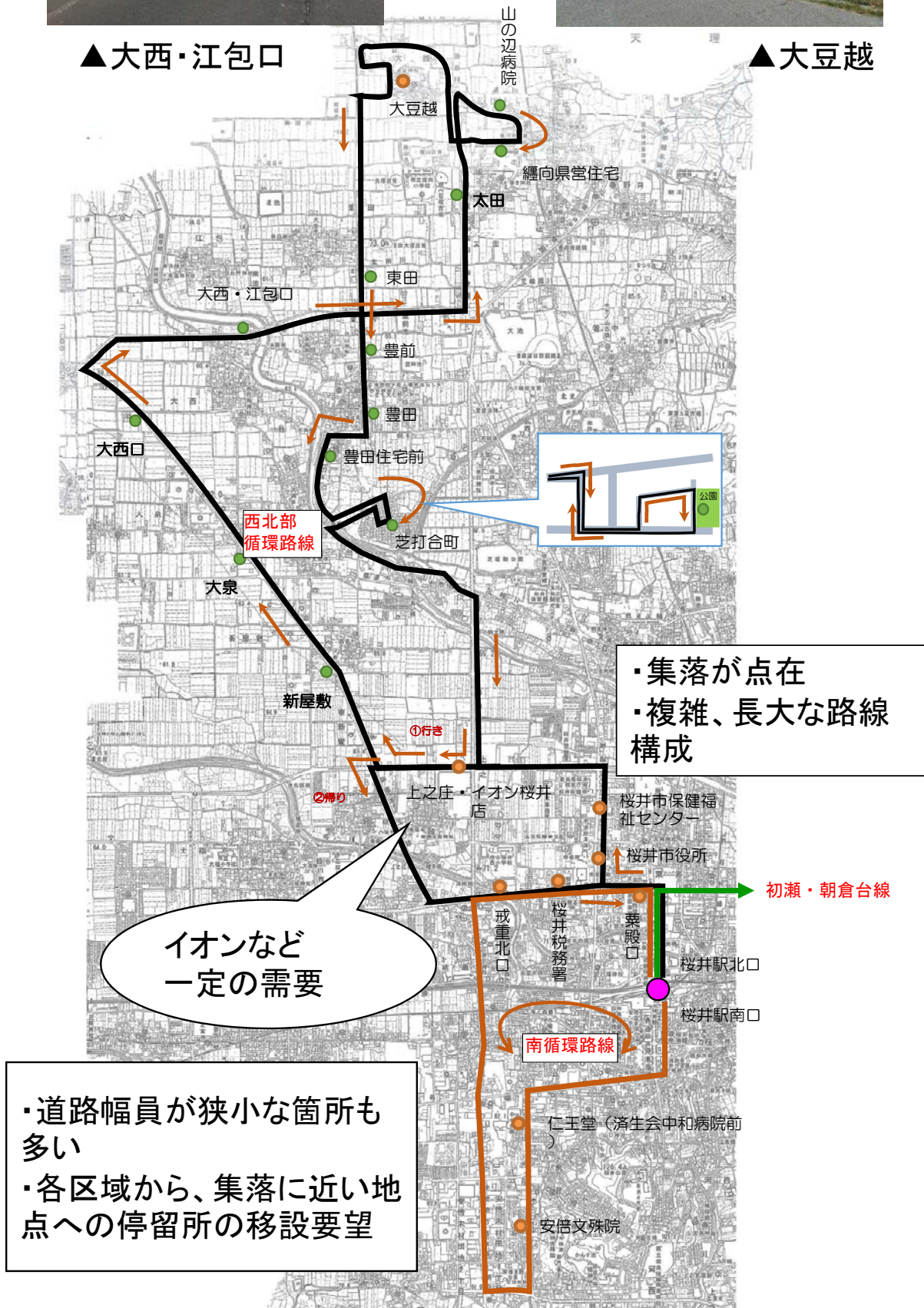
【課題】



▲大西・江包口



▲大豆越



コミュニティバス 西北部循環線【再編方針】

デマンド化

○課題を解決し、
(・集落が点在・複雑、長大な路線構成) 効率的な運行ができる

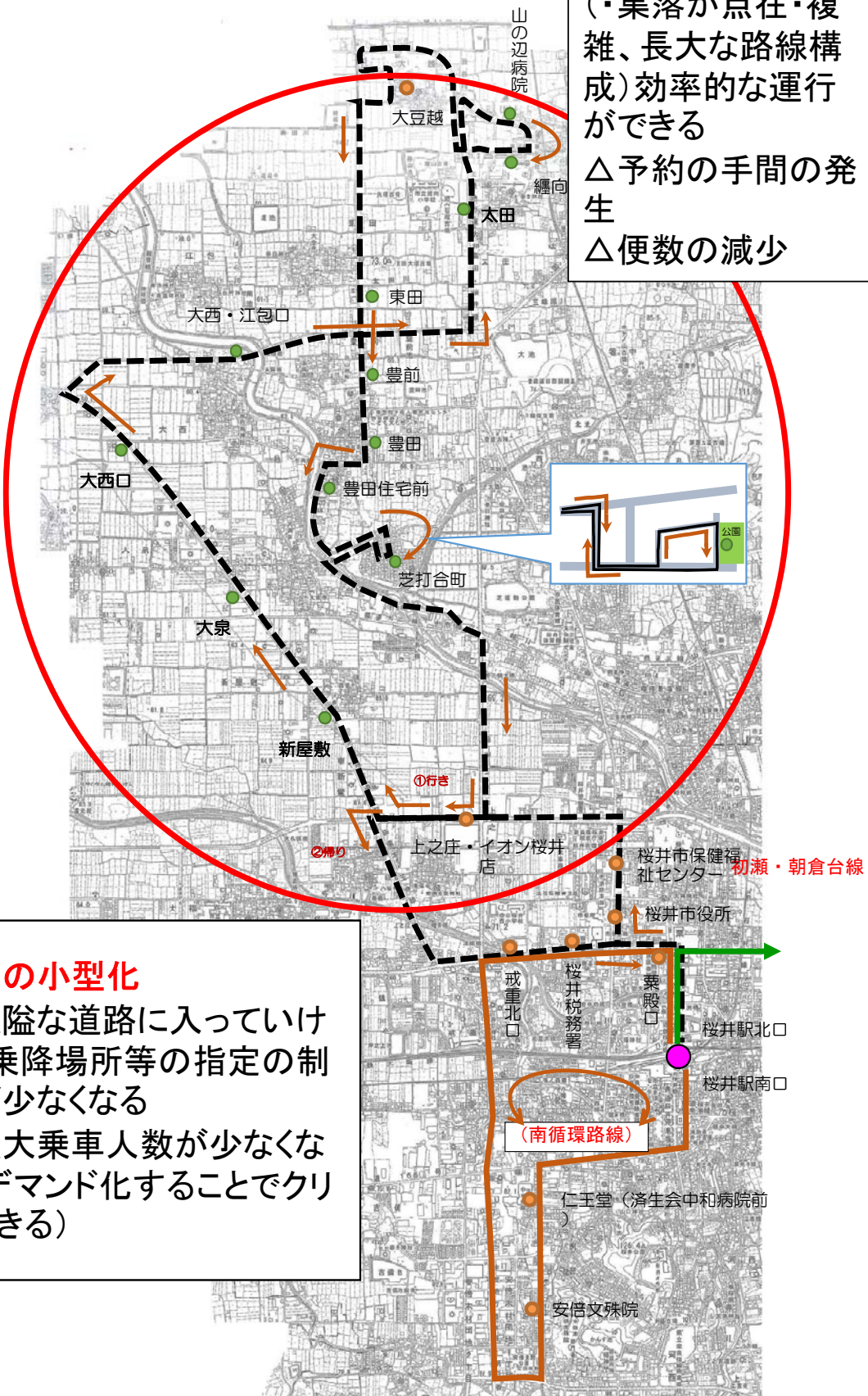
△予約の手間の発生

△便数の減少

車両の小型化

○狭隘な道路に入っていける。乗降場所等の指定の制限が少なくなる

△最大乗車人数が少なくなる(デマンド化することでクリアできる)



奈良県桜井市の概要、公共交通に関する主な取組

市の概要

- 昭和31年に市制がひかれ、同年上之郷村、同34年初瀬町、同38年大三輪町と合併して現在の桜井市となる。
- 奈良盆地の中央東南部に位置し、北は天理市及び奈良市、東は宇陀市、南は明日香村及び吉野町、西は橿原市及び田原本町と接している。奈良市まで20km圏、大阪市へは40km圏に位置する。
- 人口は平成11年をピークに減少傾向となっており、平成31年1月末時点では57,286人、高齢化率は30.7%となっている。
- 纏向（まきむく）遺跡、箸墓（はしはか）古墳、大神（おおみわ）神社、長谷（はせ）寺、談山（たんざん）神社等、市内各地に多彩な歴史文化遺産を中心とする観光資源を有する。

奈良県桜井市
・人口：約57千人
・面積：98.91km²



桜井市
マスコットキャラクター
ひみこちゃん



公共交通に関する主な取組み

◆基本方針・計画・体制

H21	桜井市地域公共交通活性化再生協議会 発足
H23	第5次桜井市総合計画 策定
H27	桜井市まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定
H29	桜井市立地適正化計画 策定
H30	桜井市バリアフリー基本構想 策定

◆取組み

H17	桜井市コミュニティバス 運行開始
H22	上之郷デマンドタクシー 運行開始
H27	高家デマンドタクシー 実証運行開始
H29	高家デマンドタクシー 本格運行開始

桜井市
コミュニ
ティバス



上之郷、
高家
デマンド
タクシー



公共交通の現況

①鉄道・路線バス

- 鉄道は、近鉄大阪線（大福駅・桜井駅・大和朝倉駅・長谷寺駅）とJR西日本桜井線（巻向駅・三輪駅・桜井駅）の2線が運行している。桜井駅で乗り換えが可能で、近鉄大阪線は桜井駅から東西に、JR西日本桜井線は桜井駅から北と西にそれぞれ運行されている。
- 路線バス（運行事業者：奈良交通(株)）は、桜井駅を中心に、天理市へ伸びる天理桜井線、明日香村へ伸びる桜井飛鳥線、宇陀市へ伸びる桜井菟田野線の計3系統が運行されている。

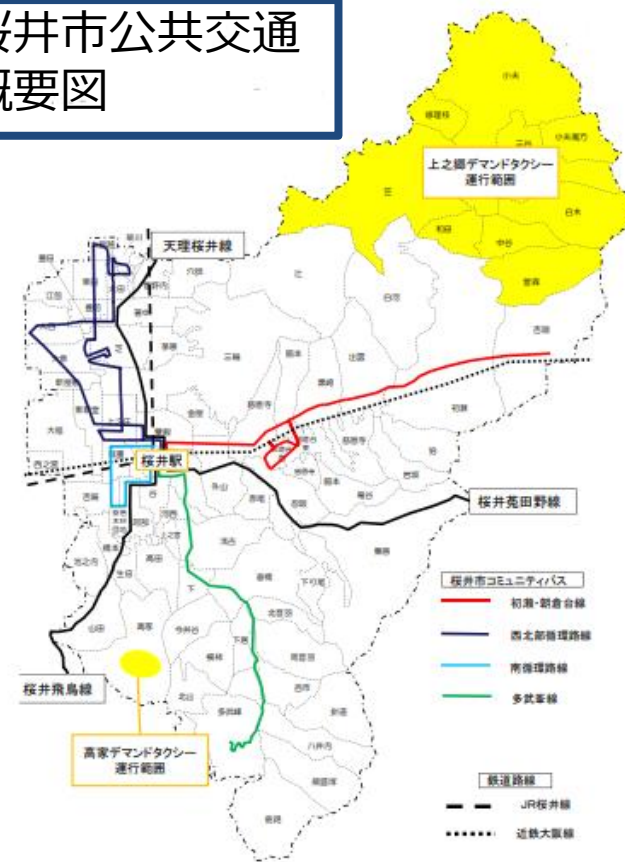
②桜井市コミュニティバス（運行事業者：奈良交通(株)）

- 奈良交通路線バスの路線維持に対する申し入れをきっかけに、平成17年10月から運行を開始
- 桜井駅を中心として、市の北西部を走る西北部循環線、中心部を走る南循環線、南部を走る多武峯線、東部を走る初瀬・朝倉台線の計4系統が運行されている。
- 運賃は、循環路線：190円均一、初瀬・朝倉台線：190～300円（上限ありの距離制運賃）、多武峯線：190～490円（距離制運賃、乗車証割引あり）となっている。
- 市内に点在する観光資源への公共交通のアクセスも可能だが、アクセスに関する情報が十分に整備されていない。
- 運行費は年々増加しており、また一部エリアでは乗降人数が極端に少ない、路線バスと路線が重複している等、効率的な運行が求められている。

③デマンドタクシー（運行事業者：日の丸交通(株)）

- 路線バスを補完する役割として、平成22年4月より上之郷地区、平成27年12月より高家地区の住民を対象に運行を開始。
- 運賃は定額（上之郷500円、高家300円）

桜井市公共交通概要図



課題

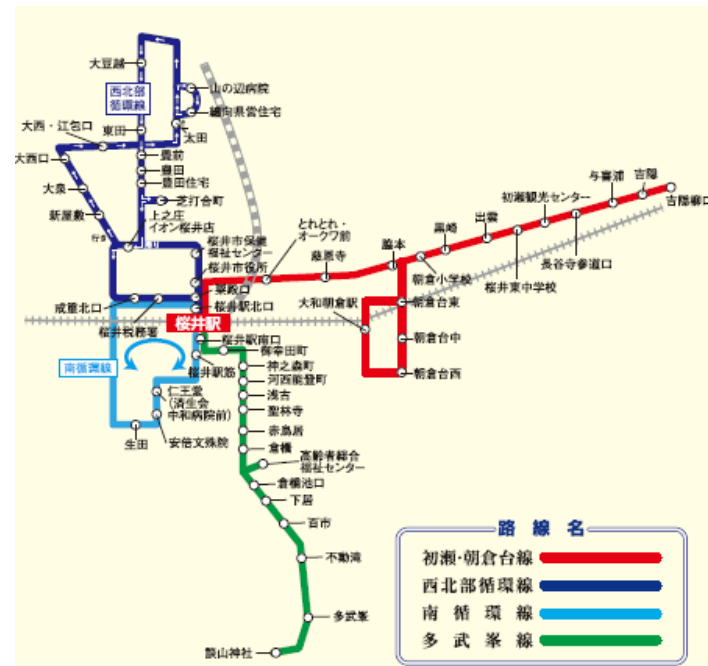
- ① 利用実態に応じたコミュニティバスの効率的な運行
- ② 市内に点在する豊富な観光資源への公共交通のアクセス方法・情報の充実
- ③ 市・住民・事業者が協働した公共交通の維持・活性化を促す仕組み作り

課題①について（奈良県桜井市）

課題 ①

利用実態に応じたコミュニティバスの効率的な運行

- 桜井市ではコミュニティバスが計4系統運行されているが、初瀬・朝倉台線の吉隠地区のような利用が非常に少ない区間、西北部循環線のようにルートが蛇行しており1回の運行に1時間以上かかる路線、南循環線の一部のような民間路線バスのルートと重複している区間があるなど、**非効率的な運行になっている部分が見られる。**
- コミュニティバスの運行を行うために市が負担する費用は年々増加しており、**市の財政を圧迫している。**
- 学生による通学での利用や観光客による観光シーズンでの利用など、限られた時間や期間に利用が集中するルートもあり、**利用者のニーズや利便性を正確に把握し、運行に反映させる必要がある。**
- 一方で、潜在的な需要はあるが、道路が狭隘であるため既存の体制では運行ができない地域も存在する。
- コミュニティバスの運行見直しにあたっては、既存の鉄道や路線バスの運行状況も考慮し、**一体的な見直しを行う必要がある。**



▲桜井市コミュニティバス路線図

H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
34,681	33,796	48,895	52,580	54,647

▲自治体負担額(コミバス、デマンド合計) 単位:千円

課題①について（奈良県桜井市）

課題①への提案

- 路線バスとコミュニティバス、デマンドタクシーの役割分担を再整理し、市として提供・支援すべきサービス水準を定めたうえで、路線の必要性和利用実態の見極め、利用者負担の見直しなど様々な視点から効率化、採算性向上に向けて検討することが重要である。
- 初瀬・朝倉台線については、バス路線を与喜浦止まりとして、利用者数が極めて少ない吉隠地区には、バス路線廃止の代替手段として、デマンドタクシーを導入することも検討に値する。
- 西北部循環線については、狭隘な道路形態に即して車両を小型化するとともに、停留所をより集落に近い場所に移設したうえでの、定時定路線からデマンドへの転換も有効な手法の一つである。
- 南循環線については、民間路線バスと一部区間が重複していることから、利用数が少ない時間帯のダイヤを削減することは可能である。また、初瀬・朝倉台線との路線統合により、桜井駅での乗り継ぎの手間を解消することも有益であると考える。
- ダイヤについても、パターンダイヤ化や、鉄道との乗り継ぎを考慮したものにするすることで、利用者の利便性向上を図ることができる。
- デマンド等の新しい交通を導入する場合は、利用者数や収支率などに一定の目標値を定め、目標値に達しない場合は運行の見直しを行うなど、事前に運行の基準を定めておく必要がある。また、運行形態やルート見直し等の変更を検討する際は、沿線住民、交通事業者への事前説明を丁寧に行う必要がある。

北ループ

1周43分

平成31年2月1日改正

停留所名	8時～11時・13時～16時 ※12時台の運行はありません
① 岸和田駅前	毎時 5分
② 上野町東	毎時 11分
③ 加守町2丁目	毎時 12分
④ 春木若松町	毎時 14分
⑤ 競輪場前	毎時 16分
⑥ 府営吉井住宅前	毎時 19分
⑦ 中井町	毎時 20分
⑧ 箕土路公園前	毎時 23分
⑨ 下池田町	毎時 24分
⑩ 小松里町北(総合体育館)	毎時 28分
⑪ 市民病院前	毎時 33分
⑫ 保健センター前	毎時 38分
① 岸和田駅前	毎時 48分

交通事情により遅れる場合がありますのでご了承ください。

▲パターンダイヤ(岸和田市『ローズバス』)



▲楠ヶ丘地域乗合タクシー『くすまる』 (河内長野市)

課題②について（奈良県桜井市）

課題 ②

市内に点在する豊富な観光資源への公共交通のアクセス方法・情報の充実

- 桜井市には纏向（まきむく）遺跡、箸墓（はしはか）古墳、大神（おおみわ）神社、長谷（はせ）寺、談山（たんざん）神社等、市内各地に多彩な歴史文化遺産を中心とする観光資源を有しているが、市ホームページにそれぞれの観光施設への公共交通でのアクセス方法が記載されておらず、公共交通機関を利用して来訪する観光客にとって分かりづらくなっている。
- また、観光施策においては、「山の辺の道」等の大和地域の広域観光に取り組んでいるが、観光パンフレットや市ホームページ等に公共交通の情報が詳しく記載されておらず、公共交通機関を利用して来訪する観光客にとって分かりづらくなっている。
- コミュニティバスのバス停が最寄りとなっている観光資源もあるが、観光のページとコミュニティバスのページがリンクしておらず、観光客にコミュニティバスを便利に利用してもらえる環境が整っていない。
- 路線バスの他市町村へまたがる広域路線（桜井菟田野線、天理桜井線、桜井飛鳥線）を活性化するために、住民に対してだけでなく、桜井市に来訪する観光客に対しても活用してもらえよう周知、利用促進を行う必要がある。

▶ 大神神社



◀ 箸墓古墳



▶ 長谷寺



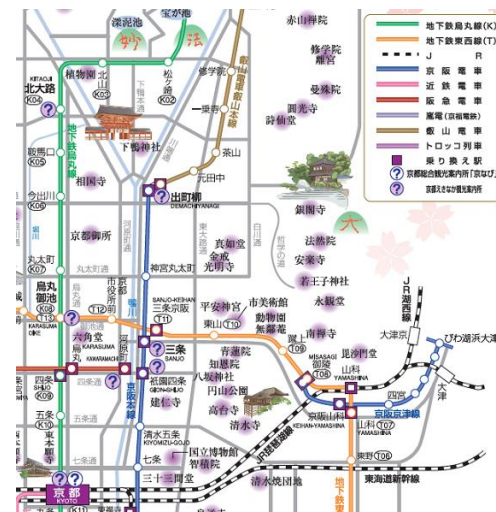
課題②について（奈良県桜井市）

課題②への提案

- 桜井市のホームページのトップページ及び観光案内のページから直接コミュニティバスの情報を掲載したページへリンクできるようなレイアウトへの更新を検討する必要がある。
- 加えて、大神神社や長谷寺等の観光施設名所が開設しているホームページにもコミュニティバスの路線情報を掲載してもらうことで、観光の際の有益な交通手段であることをPRしてもらうことができる。
- 利用者に対しては、市の観光ポータルサイトによるコミュニティバスのダイヤ等の掲載、バスロケーションシステムの導入、バス停や観光地における情報案内板やデジタルサイネージの設置などによる情報発信が効果的である。
- 公共交通に関する情報を手軽に入手できるツールとして、単なる路線図・時刻表ではなく、地図に乗継情報等の公共交通に関する情報をおとしこんだ「公共交通マップ」の作成・配布が望ましい。また、あわせて観光情報やそこへのアクセス方法を掲載すれば、住民だけでなく観光客にも活用してもらうことも可能となる。
- 一例として、公共交通情報を詳しく埋め込んだ山の辺の道等のウォーキングマップの作成等により、広域路線バスの利用振興を図ることができる。また、JR線を利用した京都―桜井―高野山ルートなど、モデルコースによる観光情報発信の検討も効果的である。
- インバウンド（欧米F I T）に対しては外国語のマップの作成・配布が効果的である。なお、インバウンド対応のための多言語化対応については、「訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業」を活用することも可能である。
- 若者や外国人への情報発信を図るため、SNSの活用は効果的である。



▲奈良バスナビweb
(奈良交通(株))



▲公共交通マップ
(京都観光Navi)

課題③について（奈良県桜井市）

課題 ③

市・住民・事業者が協働した公共交通の維持・活性化を促す仕組み作り

- 市内自治会が実施したアンケートによると、桜井市で運行しているコミュニティバスについて、「利用したことがない」「運行経路やバス停の位置が分かりづらい」「そもそもコミュニティバスが運行していることを知らなかった」などの意見があり、**情報の認知度の低さ**が利用が伸びない理由の1つと考えられる。
- 加えて「今は必要ないが、将来的には必要」「運賃が高い」という意見が多くあり、**「公共交通は利用しなければなくなってしまう」という認識や、実際の費用負担額についての認識が乏しい。**

課題③への提案

- 鉄道事業者やバス事業者と連携し、幅広い世代を対象とする「**鉄道・バスの乗り方教室**」をはじめとする**体験イベント型施策の実施**は、公共交通を知らない・利用したことがない人に対して利用促進に効果的である。
- 市民や利用者がバス路線の維持・活性化について自ら考える機会を設けるなど、**「マイレール・マイバス」意識の醸成を図る**ことが重要である。例えば、まちづくり・地域活動の一環として、高校・大学や各自治会と協働し、学生や市民と一緒に**公共交通活性化を考えるセミナーやシンポジウムの開催**なども考えられる。
- 例えば、**市内の宿泊施設や商業施設とタイアップ**し、公共交通機関を使用すればクーポンの付与や記念品の贈呈が受けられる等の取り組みは、地元住民だけでなく、国内外から来訪する観光客に対しても有効である。
- 上記イベント等、市民の外出機会の創出のための取り組みはまちづくりの観点からも有効である。



▲ノンステップバス乗降体験
(大和郡山市)

平成30年 7月31日
地域連携サポートプラン協定締結

平成30年 8月28日
桜井市と意見交換

平成30年 8月31日
奈良交通（株）と意見交換

平成30年11月22日
コミュニティバス乗り込み調査

平成30年12月12日
桜井市と意見交換

平成31年1月17日
桜井市と意見交換

平成31年2月26日
地域連携サポートプラン課題研究会

平成31年3月26日
地域連携サポートプラン提案書交付



▲サポートプラン協定締結式



▲サポートプラン課題研究会



▲サポートプラン意見交換、現地調査

コミュニティバス改善へ

桜井市ネットに時刻表や経路検索

近畿運輸局は、乗客の減少傾向が続く桜井市のコミュニティバス案などを市に提案した。市

は提案を生かして、今秋をめどに路線を改善する。市は桜井駅を起点とするコミュニティバス4路線と乗合タクシーを運行して

2010年度をピークに減少傾向にあり、路線存続や観光客の利用促進に向けた改善策を、全国の事例を知る近畿運輸局に相談。昨夏に協定を結んで、

課題について協議してきた。近畿運輸局は、利用者の少ないバス路線の一部を乗合タクシーに変更すること

や、住宅地の狭い道を走る路線での車両小型化などを提案している。観光客の利用促進では、大神神社や長谷寺など、市内に点在する観光地を効率よく回れるようにするため、電車や民間の路線バスも含めた移動手段と時刻表をインターネット上やチラシで発信することを盛り込

やまと恋物語

万葉抄

恐みと告らずありしをみ越路の手向に立ちて妹が名告りつ

(中臣宅守、巻15の3730)

神に捧げた恋人の名

を、「手向け」という。神のご加護なくして、越えられない道があったのである。しかし、男は何も持ち合わせてい

なかった。こういう場合、恋人の名を神に明かすことが手向けになるのである。それは、女性名は婚約者にか明かさないう決まりごとがあったからである。女から明かしてもらった女性の名を、神への捧げ物としたのである。

ふるさと奈良を思慕する心を探ってみたい。

禁断の恋の故に引き裂かれた中臣宅守と狭野弟上娘。中臣宅守は、越前に流されることになった。

護送されるのであれば、見張りも付くであろうが、難所ともなれば、難所を守る神に捧げ物をしなくてはならない。この神への捧げ物のこと

狭野弟上娘 奈良時代の歌人。

宮中の女官とみられる。万葉集に宅守への激しい愛情を詠んだ短歌23首が収められている。



北国街道と東海道が交差する「札の辻」。越前へ向かう起点となった(大津市)

恐れおおいことだと憚って告げなかった女の名前その女の名をみ越路の手向けの地に立って口に出してしまった

いとしい人の名を口走することは、約束違反である。そうとわかっていても、神への捧げ物が必要だったのである。愛する人の名は、ふるさとの山河と同じく、心に焼きつけるものであった。

人には忘れられないふるさとこの景というものがある。

(上野誠・奈良大教授)

①一切なりゆき ～樹木希林のことば～

(樹木 希林) 文春新書

②騎士団長殺し―第2部 遷ろうメタファー編

(村上 春樹) 新潮文庫

③騎士団長殺し―第2部 遷ろうメタファー編

(村上 春樹) 新潮文庫

④シリーズ【実像に迫る】019 筒井順慶

(金松 誠) 戎光祥出版

⑤ゼロトレ (石村 友見) サンマーク出版

⑥Re: ゼロから始める異世界生活19

(長月 達平) MF文庫J

⑦樹木希林 120の遺言 死ぬときぐらい好きに

させてよ (樹木 希林) 宝島社

⑧今こそ、韓国に謝ろう ～そして、「さらば」と言おう～

文庫版 (百田 尚樹) 飛鳥新社

⑨君は月夜に光り輝く

(佐野 徹夜) メディアワークス文庫

⑩100分de名著 マルクス・アウレリウス『自省録』

2019年4月 NHK出版

ベストセラー

(3月26日～4月1日、啓林堂書店調べ)

◇野菜類(単位、円)

しろな 奈良 0.25 70 108
こまつな 奈良 0.2 43 43
ほうれんそう 奈良 0.2 43 97

天気

北部 南部

きょう

午前 午後

奈良

五條

十津川

あすのこよみ

4月6日(土)